

単元名	羽田のまちの和菓子屋さんの新商品を開発しよう	学年	5年生
内容	A_ものづくり	総時間数	35
目標	羽田のまちに昔からある和菓子屋さんの思いを知り、協働的にアイデアを出し合って、コンセプトにあった新しい和菓子やパッケージを考え、創造力の育成を図る。		

指導計画の概要

学習過程	主な学習活動	外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>和菓子屋さんに来てもらい、体験する機会を設け、和菓子に興味をもつ。</li> <li>和菓子について知るために、インターネットや本を使って調べ学習を行う。</li> <li>和菓子屋さんの理念や思い、課題を聞き、商品開発等に対して意欲を高める。</li> <li>市場調査の方法を考え実施し、ニーズを知る。</li> <li>グループで地元のふれあい祭りや、空港マルシェ等で販売する和菓子を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和菓子屋（磯崎家・玉川屋）</li> <li>株式会社 教育と探求社</li> <li>スクールサポート HANEDA</li> </ul>
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの考えたコンセプトはお店の考えるお客さんのニーズに合っているのかを確かめる。和菓子のアイデアを考え、試作品を作り、プレゼンテーションを考える。発表方法はグループごとに決定する。</li> <li>グループ同士の交流を通してフィードバックをしあい、修正する。</li> <li>和菓子、パッケージのデザインを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和菓子屋（磯崎家・玉川屋）</li> <li>株式会社 教育と探求社</li> <li>スクールサポート HANEDA</li> <li>校内教職員</li> </ul>
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な発表の仕方について情報を収集して提案に向けた準備、練習を行う。</li> <li>和菓子屋さんへ提案し、フィードバックをもらう。</li> <li>学習を振り返り、学習したことを価値付けたり他児の成長を確かめたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和菓子屋（磯崎家・玉川屋）</li> <li>株式会社 教育と探求社</li> </ul>

本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数

教科名等	本単元で補完する内容		授業時数
国語	書くこと	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	9
	書くこと	・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	
	話すこと・聞くこと	・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。	
	話すこと・聞くこと	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	
社会	農業	・生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。	3
	情報産業	・情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。	

図工	共通事項	・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。	1
家庭	家族・家庭生活	・家族や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫すること。	3
	家族・家庭生活	・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。	
外国語	外国語	・身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。	2
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。		15